

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」
「新たな文明」の萌芽、探求を！

けいはんなmeta鼎談

第5回

『人間論』

哲学 × 科学 × 芸術

「人間論—意識・無意識の謎を探る」は、
人類の究極の探究課題とも言えるのではないか。
その如何が次の世を拓く礎ともなろう。
確かな「人間観」の獲得に挑みたい。

Motif 「意識・無意識」の謎を探る

鼎談者



哲学

出口 康夫 先生
(京都大学 特定教授)

人間とは、単に「存在」しているだけではなく、「実存者」であり「時間を背負って」いる。我々は誕生から成長、成熟、老化、死へと不可避に進行するベルトコンベヤーに無意識に運ばれているが、突如自分が「動く舞台」の上で踊っていると気づくことがありえる。「実存のベルトコンベヤー」は意識と無意識の領域を行き来している。



科学

渡邊 正峰 先生
(東京大学 准教授)

AIの進展に伴い、人工意識の存在可否が取り沙汰されているが、私は人工意識の開発をとおして意識の神経メカニズムを明らかにしようとしている。その試みを通して人工意識が実証されれば、その先には、意識のアップロード、すなわち、「デジタル不老不死」が待っている。



芸術

赤松 玉女 先生

(国際高等研究所 副所長
画家 / 京都市立芸術大学 名誉教授)

Photo: Y.Taguchi
私にとつての絵画制作は、自分の目と手を通してその場で立ち上がっていく、ライブ感覚が重要。制作の中で導かれる感覚と、それを形に定着させる決断の往復—。それは意識と無意識のあいだを行き来する体験とも言える。こうした感覚を手がかりに、「何かに」触れたいと考えている。

2026年6月20日(土) 14:00 ~ 17:00

鼎談会場

国際高等研究所
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3

定員

会場 40 名、オンライン 100 名
(先着順・定員になり次第締め切り)

参加費

無料

締切

2026年6月18日(木)

申込

Peatix からの参加申込のみとなります。事前申込の上、ご参加いただきますようお願いいたします。
申込先：<https://meta5.peatix.com>

お問合せ先

申込み、視聴など、Peatixの利用方法に関してご質問などがございましたら、下記のヘルプページをご確認いただくか、お問合せ窓口にご連絡ください。
Peatixヘルプページ <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>
Peatixお問合せ窓口 <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/tickets/new>



主催

公益財団法人 国際高等研究所
<「新たな文明」の萌芽、探求を！> プロジェクト事務局
e-mail:goethe0828@iias.or.jp

公益財団法人
国際高等研究所

オンライン 対 面

ご参加希望の方は、Peatixよりお申込みください。手続き完了後、当日の招待メール（ウェビナー（Zoom）の事前登録案内を含む）がPeatixから送られます。なお、開催日時の24時間前に、ご登録いただいたメールアドレス宛に、リマインドメールをお送りします。

当日のプログラム（予定）

13:30～14:00	受付
14:00～14:50	各鼎談者からの冒頭発言
14:50～15:50	鼎談
16:00～16:45	鼎談（参加者との意見交換を含む）
16:45～17:00	鼎談者からのまとめ発言



開催趣旨

「人間」、この未知なるもの。分けてもその「意識・無意識」は、古来、多くの哲学者が、そして科学者が考究して来たが、正体を掴むには至っていない。だが、今、「生成AI」の進化発展は目覚ましく、「人間」の知能を圧するまでに至っている。「生成AI」を映し鏡として「意識」の正体が掴めるのではとの期待が高まる。

ところで、「無意識」はどうか。歴史を辿れば、その発見はフロイトにあるとされる。同時代を生きたユングの「集合的無意識」に注目が集まる。その「意識」を超えた「意識」こそ、「人間」の精髓と言えようか。翻って、西洋の思想を待つまでもなく、日本には「唯識」をはじめとする「無意識」に関わる哲理が連綿として保持されている。この人類的遺産とも言える精神的遺産は、東洋の宝。

「人間論—意識・無意識の謎を探る」は、人類の究極の探究課題とも言えるのではないか。その如何が次の世を拓く礎ともなろう。確かな「人間観」の獲得に挑みたい。

プロフィール（敬称略）



哲学

出口 康夫

京都大学 特定教授
1962年大阪市生れ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。京都大学大学院文学研究科哲学専修教授を経て、現在、京都大学人と社会の未来研究院特定教授。京都哲学研究所共同代表理事。専攻は哲学、特に分析アジア哲学、数理哲学。現在「WE ターン」という新たな価値のシステムを提唱している。近著に『これからの社会のために哲学ができること 新道徳実在論とWE ターン』（光文社）、『AI 親友論』（徳間書店）、What Can't Be Said: Paradox and Contradiction in East Asian Thought (Oxford UP)、Moon Points Back (Oxford UP) など



科学

渡邊 正峰

東京大学 准教授
1970年、千葉県生まれ。東京大学大学院工学系研究科准教授。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。専門は神経科学。著書に From Biological to Artificial Consciousness (Springer)、『意識の脳科学 「デジタル不老不死」の扉を開く』（講談社）、『脳の意識 機械の意識』（中央公論新社）、『意識の不思議』（筑摩書房）、共著に『意識はどこからやってくるのか』（早川書房）など



芸術

赤松 玉女

Photo: Y.Taguchi

国際高等研究所 副所長
画家／京都市立芸術大学 名誉教授
1959年兵庫県尼崎市生まれ。
'84年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻（油画）修了。相反する感情が同時に存在し、複雑に移ろう人間の内面をテーマに、油彩、水彩、フレスコ技法など、画材や技法を組み合わせた絵画表現を研究。イタリアでの創作活動などを経て、国内外でグループ展、個展を多数開催。
'93年より京都市立芸術大学美術学部美術科教員、'18年美術学部長、'19年4月より同大学学長（～'25年3月）。現在、同大学名誉教授。'25年10月より公益財団法人国際高等研究所副所長

オンライン参加の方は

* ZOOM システムを利用した「WEB セミナー」として開催いたします。参加者はパソコンなどの端末、ネット環境、ZOOM ソフトなどをご自身で準備いただき、操作してください。

* 受付時間（13:30～14:00）内に、事前に連絡する URL からアクセスしてください。

- ・お申込者以外の方は視聴できませんので、予めご了承ください。
- ・後日配信や、Q&A、チャットの事後共有を行う予定はございません。
- ・本イベントの録画・録音は禁止します。
- ・プライバシー保護、著作権の観点から、無断で画面をスクリーンショットや写真などで撮影することは禁止します。

会場にお越しいただく方は

* 会場での申込受付は行いません。
事前申込なしでのご来場はご遠慮ください。